

祝！小浜市が日本遺産に！！

4月24日 文化庁が認定・発表

「御食国若狭と鯖街道」が日本遺産第1号

4月24日(金)、文化庁が、「日本遺産」認定の第1号として18件を発表。小浜市と若狭町から成る「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国(みけつくに)若狭と鯖街道」が選ばれました。

「日本遺産」とは、文部科学省が平成27年度に創設した国の新制度。日本の伝統や文化を世界にPRする「クールジャパン」戦略の一環で、国内の文化財を共通の特徴ごとにまとめ、認定し、魅力ある資源として国内外に発信することで、地域の観光振興など活性化につなげることが目的です。

文化庁には、地方自治体から83件の申請があり、文化財や観光の有識者による会議を踏まえて、4月24日(金)に、日本遺産の第1号として18件を認定、発表しました。小浜市と若狭町が県を通じて申請していた「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道」も日本遺産として認定されました。

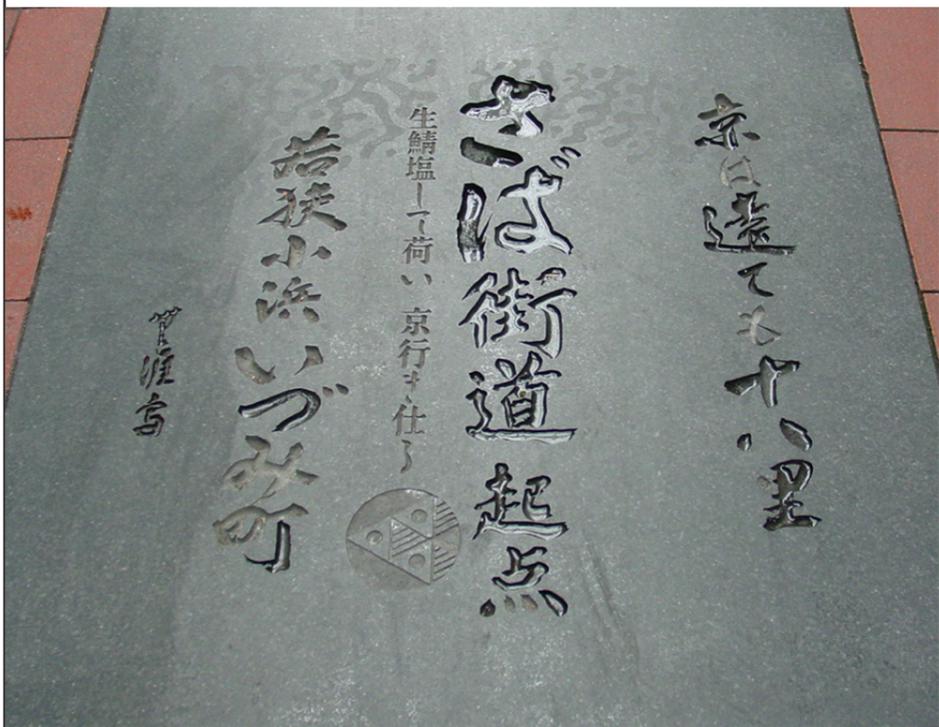
若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた土地です。また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地でもありました。

近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時のにぎわいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼などさまざまな文化が今も息づいています。

市では、これらの歴史と文化を後世へ保存・伝承するとともに、世界に誇る貴重な資源として広く発信することを目的に、「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道」
としてまとめ、国の「日本遺産」に申請しました。

申請文化財の構成としては、「若狭街道 御食国若狭の原点と鯖街道のメインルート」、「鯖街道の起点 湊町・小浜の賑わい」、「針畑越え 最古の鯖街道の歴史的景観」、「若狭の浦々に続く鯖街道 都の祭りや伝統を守り伝える集落」の4分類28点を挙げ、認定につなげることができました。

今後は、4月に新たに設置した、企画部内の「人口増未来創造課・日本遺産推進グループ」を中心に、全庁体制で、「日本遺産」のブランド力を活用した情報の発信と、文化財の整備を行っていきます。また、同時に、地域住民、民間事業者、行政が一体となった協働の「オール小浜体制」を構築。国内外からの誘客や、インターン・Uターン者の移住促進による人口増などを目指していきます。



上/いづみ町商店街の鯖街道起点、下/鯖を担いで小浜の魚市場へと急ぐ内外海漁村の女性たち(昭和22年頃)

